

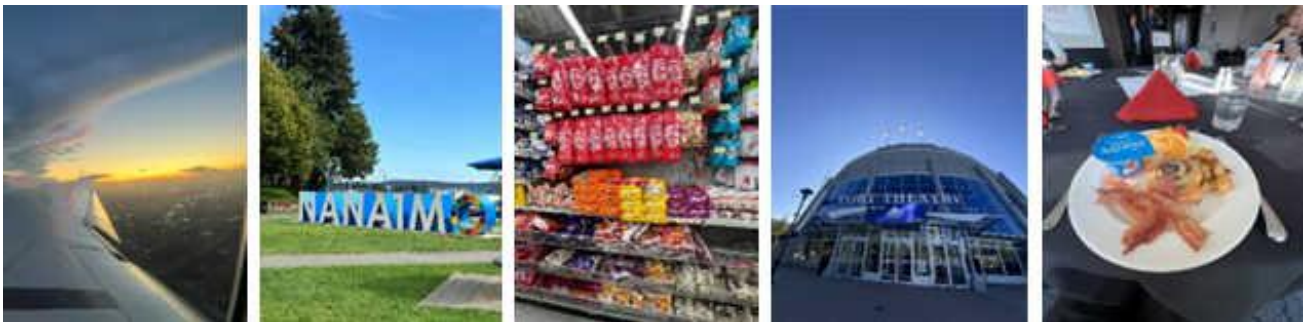
留学だより vol.1



こんにちは！カナダのブリティッシュコロンビア（BC）州に留学中の16期糠谷です！次世代リーダー育成道場のプログラムで8/26に日本を出発しました。これからの生活にワクワクしている反面、不安も大きいですが家族や友人たちからたくさんの応援のメッセージをもらったので10か月間、精一杯楽しみたいと思います！！

〈出発～ホストファミリーと出会うまで〉

8/26に日本を出発し、8時間のフライトを経てバンクーバー空港に到着しました。初日は同じBC州に留学する研修生20名の仲間たちとともに、バンクーバー島にあるナナイモという場所で研修を受けました。この研修では留學生活の注意事項を聞き、留學の抱負を研修生に向けて発表し、「ついに留學生活が始まるんだ！」ということを実感した2日間でした。この2日間で一緒に研修を受けた研修生とはこれまで以上に仲良くなり、別れ際には10か月も会えなくなると思うとすごく悲しかったです。偶然にもナナイモという場所は私の留學する地域だったので、研修後はすぐにホストファミリーと会うことができました。



〈ナナイモ〉

私が留學しているカナダのナナイモ（Nanaimo）は、ブリティッシュコロンビア州のバンクーバー島東海岸に位置する、人口約9万人の都市です。バンクーバーから西に約55kmの距離にあり、フェリーで2時間ほどかかる、海と山に囲まれた穏やかな港町です。最初に「ナナイモ」という名前を聞いたとき、「7?芋?何だろう?」と思ったのですが、その名前の由来は先住民であるスネヌイムク（Snuneymuxw）族の言葉に由来し、「集まりの地」や「集会の場所」を意味する言葉からきているようです。

〈ホストファミリー〉

はじめてホストファミリーに会った時は、とても緊張していましたが、温かく迎えてくれたので安心しました。ホストファミリーは、ホストファザー、ホストマザー、12歳のホストブラザー、9歳のホストシスター、そして、1歳3か月の柴犬です。ホストファミリーは過去に日本人をホームステイで受け入れた経験があり、私で4人目の日本人留学生だそうです。温かいホストファミリーに恵まれ、様々な面で支えられています。

〈ホストファザー〉

26歳の時に、北海道の旭川に住んでいたこともあり、日本のことが大好きなお父さんです。北海道の塩ラーメンとココイチのカレーがおいしくて忘れられないそうです。普段はダウンタウン近辺で働いていますが、ロードバイクに乗ったりトライアスロンをやったりなど、とてもアクティブな人です。

〈ホストマザー〉

香港出身で、小さいときにバンクーバー島に移り住んだため、英語はネイティブです。普段は家で働くことが多いです。ホストファザーと同じくアクティブで、犬の散歩のときに、毎日ジョギングしています。

〈ホストブラザー〉

アクティブでリスクのあるスポーツが得意です。マウンテンバイクのレースに出たり、スクーターで高度な技を挑戦したりしています。家の中でも車輪なしの練習用のスクーターで技を磨いています。日本のアニメや野球選手が好きで、カードやグッズを集めています。ホストブラザーと粘土遊びやお絵描きをして遊んでいます。しっかりしていますがまだ小学生らしい可愛らしさがあります。

〈ホストシスター〉

とても運動が好きで、今はシンクロナイズドスイミングの体験に行ったり、新しい習い事を探したりしています。暇さえあれば、庭のトランポリンで遊ぼうと誘ってきて、足が疲れるまで跳び続けています。初日からすぐに私になついてくれて、家に帰ってからはほとんどホストシスターと一緒に過ごしています。ホストシスターは家族の中でも特におしゃべりで、ずーっとしゃべっています。以前、ホストファミリーと名前の由来について話していた時、ホストファザーが「(ホストシスター)の名前の由来は talking a lot」とジョーダンで言っていました。

〈柴犬〉

私は日本では犬を飼っていないため、犬と一緒に暮らすのは初めての経験でした。とても元気な犬で、いつも食べ物を探し回っています。毎日その存在にとっても癒されています。



〈Tofino 旅行〉

ナナイモでの生活を始めて2日目にして、いきなり3泊4日のキャンプに行きました。Tofinoはバンクーバー島の中で最も有名なキャンピングリゾート地で、ホストファミリーは毎年ここを訪れているそうです。ホストファミリー所有のキャンピングカーに乗って、3時間ほどかけてTofinoまで行きました。Tofinoでの4日間はホストファミリー、知り合いの2家族の計3家族で過ごしました。日中は近くにあるビーチに行って、砂浜で野球やサッカーをしたり、海に入って波にゆらめいたりなどして日が沈むまで遊びました。そして夜はキャンプファイヤーやスモア作りを楽しみました。3日目の午後にはみんなで砂の大きなお城や家を作って砂遊びをしました。小学生に戻ったような気分でとても楽しかったです。4日目には砂浜沿いを走り、5キロをみんなで競争しました。とてもいい運動になりました。Tofinoでの4日間はとてもアクティブで楽しかったです。



〈新たに始めたこと〉

学校が始まってから約2週間が経ち、クラブ活動と習い事を始めました。私の学校はスポーツがとても盛んで、敷地内には400メートルトラックがあり、学校のすぐそばには50メートルプールやカーリングやアイスホッケーが行われる大きなアイスセンターもあります。部活動の種類も豊富で、男子バスケ、女子バスケ、男子バレー、女子バレー、ラクロス、ラグビー、フットサル、水泳、クロスカントリーなどがあり、特にバスケやバレーは強豪で、入部するためにはセレクション試験があるそうです。私はクロスカントリー部に入部し、セレクション試験もなかったのでスムーズに参加できました。部活動は週に2回あり、大会は月に2、3度あります。ただ、大会が週末ではなく平日に行われるため、学校を休んだ分、授業に遅れをとってしまうのが少し心配です。

もう一つ、部活とは別に水泳クラブにも入りました。こちらは週6の練習で、日曜以外は毎日練習があるので忙しい日々を送っています。部活ではないので他の学校からの生徒も多く、幅広い地域の生徒と交流できます。練習が終わると「Good job!!」とハイタッチをしてくれて同じ目標に向かって頑張る、いい仲間ができました。



〈到着して一か月が経って...〉

最初の1週間はとても大変で課題に追われたり、慣れないことで戸惑ったりしました。でもだんだんと慣れてきて今は少し余裕が出てきました。毎日言語の壁には苦しんでいます。学校の課題を友達に教えてもらったり、ホストファミリーから多くのことを学んだり、多くの人に助けられながら過ごした1か月でした。いろんなコミュニティーがある中で、その一つ一つで会話に入っていくことは本当に大変です。うまくコミュニケーションがとれずに悔しい思いをすることもありますが、それも経験だと思っています。自分がやれることから少しずつこなして、少しでも上達するようにこれからも頑張っていきたいと思います。来月の留学だよりは、色々なアクティビティーに参加する予定があるのでそのことについてと、少し慣れてきた学校の授業や雰囲気などについて紹介したいと思います。

小石川では行事週間が終わり、通常の学校生活が始まったところでしょうか。賞を受賞された団体の皆さん本当におめでとうございます！

カナダはすでにとっても寒いです。日本人の留学生は寒さに慣れず、コートやダウンを着ている人もいます。カナダの冬を乗り切れるのでしょうか？（笑）

10月はハロウィンがありますね。カナダのハロウィンがとても楽しみです！

